

2014.10.27

2014 年度 Richard M. Fulrath 賞授賞式報告

2014 年 10 月 20 日、ピッツバーグ David L. Lawrence 会議場で開催された米国セラミックス学会、Materials Science & Technology 2014 (MS&T14)で 2014 年度の Richard M. Fulrath 賞の授賞式と受賞者の記念講演が行なわれました。

Richard M. Fulrath 賞は、日本と米国のセラミックス科学技術の発展と相互の友好のため、日本側からの基金をもとに、1978 年に設けられ、45 歳以下の研究者の中から、これまで 160 名が授与されています。1997 年までは、日本側 3 名（学界 1 名、産業界 2 名）米国側 1 名（学界）、1998 年以降は米国側の産業界からも 1 名選出され、各年 5 名が選出されています。受賞者は、米国セラミックス学会でのフルラスシンポジウムに出席して講演することになっています。

今年、日本からは、柿本健一（名工大）、中村孝則（村田製作所）、榎戸 靖（TDK）、米国からは、Susmita Bose (Washington State University)、Edward Herderick (rp+m) が受賞しました。写真は、同日夜に行われた授賞式の風景で、左から Edward Herderick、中村孝則、Susmita Bose、榎戸 靖、柿本健一です。（敬称略）

柿本健一（名工大）

